



市民の願いにこころ寄せ議員活動に全力

日本共産党 京都市議員

西村 よしみ

善美

2019年 1月27日(日)

議員活動報告 NO. 305号

○西村事務所 右京区梅津高畝町 39
Tel, FAX 872-9653

○自宅 右京区梅津東構口町 17-405
Tel, FAX 864-2009

安倍政権を終わりにする

やっぱり、市民の暮らしを守る立場で増税は認められませんが、

この日は寒いと言っても、京都特有の厳しい冷え込みではありませんでした。約60分間の取組みでしたが、近くの職場に通る方や自動車で通過する方など通行は多い。「庶民増税に怒りの審判を」「安倍政権にさよならしよう」など訴えました。



写真は1月21日、四条天神川で朝宣伝の様子です。寒いですが、朝7時過ぎからこの場所に立ちました。

近くには三菱、日新電機、交通局梅津車庫、外国語大学などがあり通行が多い場所です。

私の訴えは、市政と国政の問題について。時々「国政は関係ない、京都市のことを話して」と言われる方がありますが、京都市議員であっても国政は市民に大変影響します。その内容から訴えます。その内容は主に「消費税増税反対」「改憲で戦争する国づくり止めよ」などです。

梅津凧揚げ大会 激励

今年の梅津凧揚げ大会は、昨年の雪景色と違い温かい日でした。

私の地元、梅津で桂川河川敷を会場に恒例の凧揚げ大会が1月13日に開かれ、来賓出席し参加者を激励しました。

市内では珍しくなった凧揚げ(大会は市内では唯一かも知れません)。特に大凧



弁護士会と懇談



日本共産党京都府委員会議員団と京都弁護士会との意見交換会が開かれ、私も参加しました(写真、左端)意見交換会のテーマは、少年法適用年齢引き下げについて、憲法改正について、死刑制度廃止など。担当する弁護士から報告を受けて、意見交換がされました。私から、生活困窮者に対する支援の課題について報告しました。

「敬老乗車証制度の改悪反対」の宣伝と署名活動に参加しました

取組は、「敬老乗車証守ろう右京連絡会」の皆さん。参加者は次々にマイクを握り市民に訴え、署名のお願いをしました。市が2013年に現行制度の変更(応能負担から応益負担へ変更するもの)の

答申が出てから5年間、京都市は市民の強い反対運動で制度を変更させていません。高齢者への負担を増やすな「現行制度を維持せよ」「敬老乗車証利用地域拡大をすべき」など、意見が上がっています。今日もわずかな時間に30筆以上の署名と激励がありました。



原発ゼロ、再エネ拡大

右京区で活動する「原発ゼロネットワーク」は毎月、デモで街中アピールを続けています。福島県で、大地震の影響で原発が壊れてしまいました。多くの犠牲を払いながらも安倍政権は原発再稼働を進めていて、国民に大きな不安を与えています。

右京区は大飯原発から近いところにあり、京北

地域は一部で厳罰事故災害指定区域となっていているところ。1月18日は、右京区で原発問題に取り組む皆さんが「原発再稼働反対」「原発は廃炉を」など、住民にアピールをしました。

デモの途中に、隊列に加わる人や手を上げて激励する人もいました。同「会」は、安倍政権が原発を止めるまで続けます。

